

## 9月18日～9月22日までの 秋雨前線及び台風15号に伴う洪水対応

9月17日からの秋雨前線の停滞による降雨により、玉川ダムではダム完成以来2回目となる三山洪水が発生し、連続して台風15号による降雨により洪水が発生しました。この降雨により流域平均累加雨量で272.6mmの雨量があり、玉川ダムでは下流河川の増水を低減させるために「洪水調節」を行い、二洪水で約3,939万立方メートルの水量をダムに貯め込みました。

今回の洪水調節は、8月までの渇水対応で貯水池の水位が低下していたため、概ね全量をダムに貯め、下流河川の増水・氾濫防止に効果を発揮したものです。

また、玉川ダムでは年間洪水回数がダム完成以来最大の10回となりました。

### ■洪水発生日

平成23年4月23日、平成23年5月1日、平成23年5月8日、平成23年5月13日  
平成23年6月24日、平成23年6月27日、平成23年6月30日、平成23年9月13日  
平成23年9月18日、平成23年9月22日

### ■9月18日～9月22日の洪水

洪水発生日	平成23年9月18日			平成23年9月22日
最大流入量の時刻	① 1時50分	② 8時50分	③ 15時40分	1時00分
最大流入量	毎秒 約216立方メートル	毎秒 約263立方メートル	毎秒 約454立方メートル	毎秒 約249立方メートル
最大流入時の放流量	毎秒 約0立方メートル	毎秒 約0立方メートル	毎秒 約40立方メートル	毎秒 約40立方メートル
調節量	毎秒 約216立方メートル	毎秒 約263立方メートル	毎秒 約414立方メートル	毎秒 約209立方メートル
貯留量	約3,939万立方メートル			

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときにダムから流している水の量

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所

管理所長 千葉 和民(内線:201)

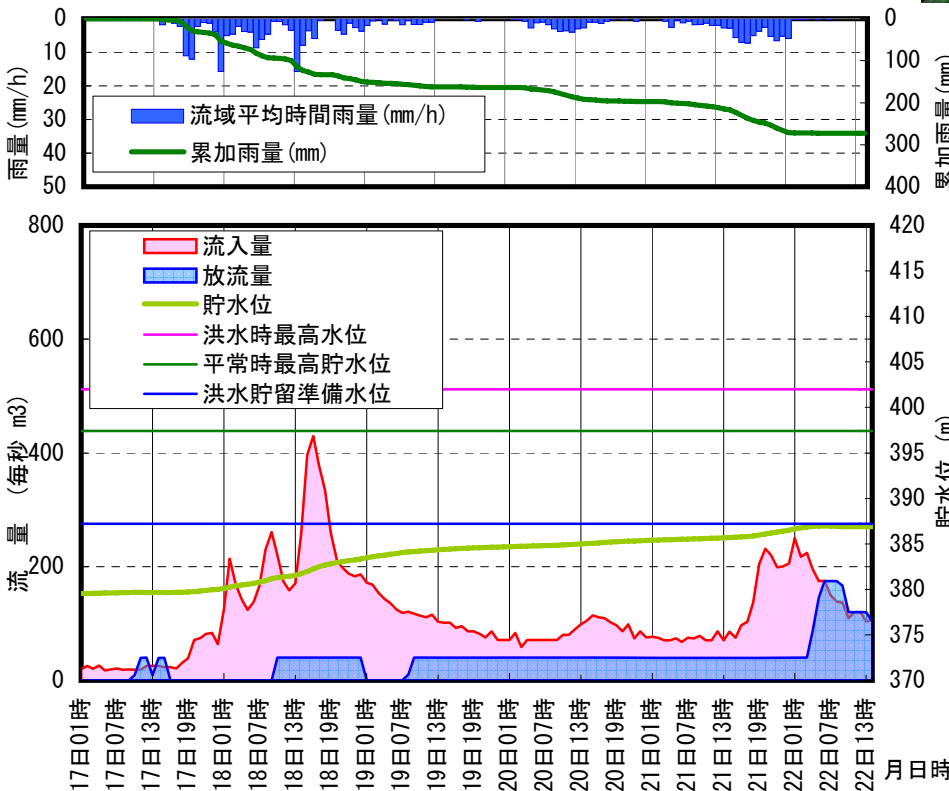
管理係長 千葉 博(内線:332)

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL:0187-49-2170 / FAX:0187-49-2166

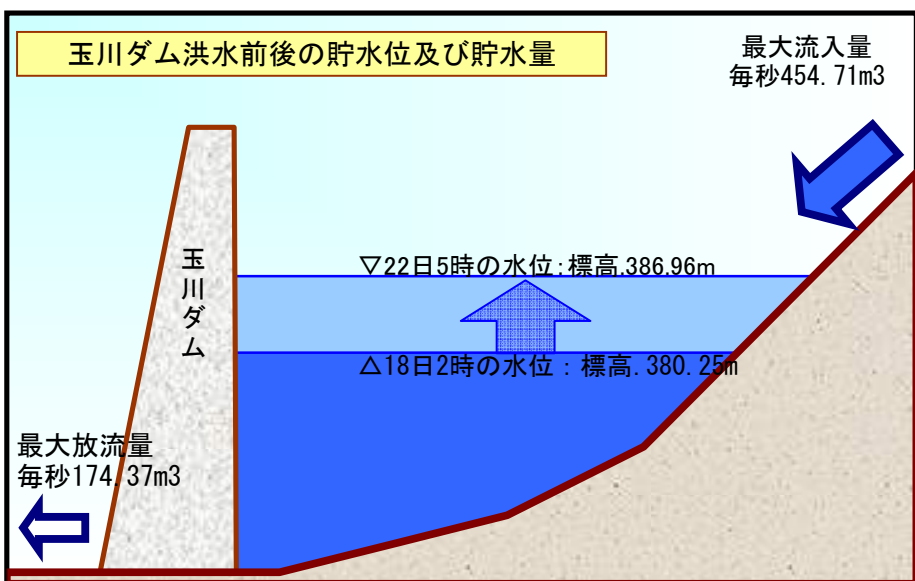
【9月18日～9月22日】秋雨前線及び台風15号 による出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒 454.71m<sup>3</sup> (18日15時40分) を記録しました。18日1時40分には洪水量 (ダムへの流入量が毎秒200m<sup>3</sup>) に達し、洪水調節を開始。約3,939万m<sup>3</sup>をダムに貯め込み、下流河川の水位低減に努めました。



流域平均時間雨量最大  
1時間に15.7mm  
(18日0時)  
流域平均累加雨量  
272.6mm

最大流入量 毎秒  
454.71m<sup>3</sup> (18日15時40分)のうち、毎秒 約  
414.71m<sup>3</sup> (91%)をダム  
に貯め込みました



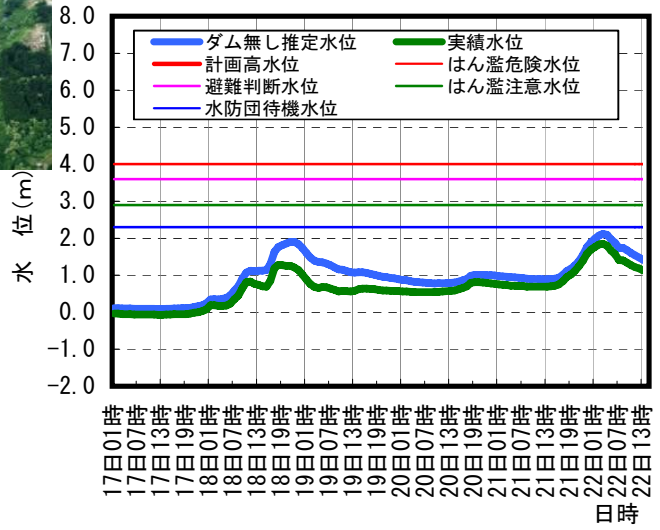
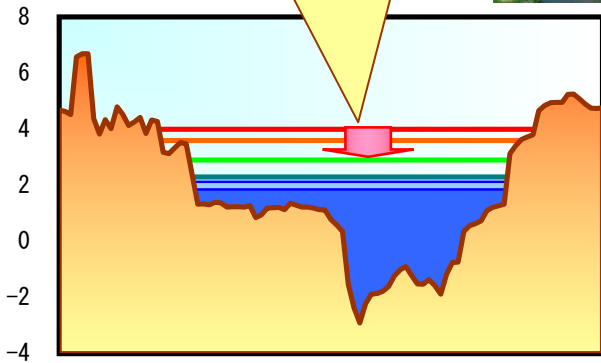
約3,939万m<sup>3</sup>の水をダムに貯めました

これは、  
東京ドーム 約31.8個分 (124万m<sup>3</sup>)  
セリオン 約58個分 (秋田ポートタワー) (約68万m<sup>3</sup>)  
25mプール 約78,780杯分 (約500m<sup>3</sup>)  
に相当します

下流河川での効果量

長野大橋地点(大仙市長野)

玉川ダム・鎧畑ダムの洪水調節効果により、水位が約0.3m低下



比較写真

